

県内53団体、原電の「20年稼働延長申請」に抗議！

『避難計画の策定なしで再稼働はありえない！』

■「再稼働についてはまだ何も決めていない。安全審査の一環として申請」との主張

11月24日（金）、東海第二原発を所有する日本原電は、原子力規制委員会に「東海第二」原発の20年稼働延長を申請しました。これに対して同日午後3時30分から、20年延長申請に反対する県内53団体が、抗議のため県開発公社（県庁裏）にある原電の茨城事務所を訪れ、連名で抗議書を提出しました。東海村平和委員会会長、県平和委員会事務局長を含む8人が代表団として応接室に入り、相沢一正・元東海村議長が、原電側の大森佳軌所長に対して、抗議文を読み上げて、手渡しました。その後、代表団のそれぞれが抗議や質問を行いました。代表団の怒りが大きく、予定時間の15分では収まらず3倍の45分を超えました。しかし大森氏は、再稼働反対の声があることは「理解している」と言いながら、「再稼働についてはまだ何も決めていない。安全審査の一環として申請した」との主張を崩しませんでした。

■抗議団は、世論の力を背に力強く主張！

抗議団8人は、「再稼働に反対する市民は常の7割から8割に達する。地域の人たちの不安を取り除く唯一の方法は、原電が『稼働延長はしません』と明言することだ。」「県知事宛署名が31万筆、20年延長反対署名が6万筆、安全協定の見直し署名が5万筆。東海第二原発の再稼働反対の県民が41万筆以上になる。この市民の声に応える道は再稼働しないことだ。」「避難計画の策定は

県も30km圏内の自治体でもできていない。このような状況で再稼働などできるはずがない。」「今後の対応はどのようになっているのか。」などと追求しましたが、大森氏は「わからない」「ここでは答えられない」を繰り返しました。



■「事前了解権」で、1人の首長でも反対なら再稼働には至らないと、回答！

江尻県議が「原電が提案した新安全協定では『6市村に事前了解権を認める』と報道されている。決定は多数決なのか？一人でも反対がいる場合は稼働はされないのか。」と質問すると「新安全協定は具体化はこれから。その際、1人でも反対がいる場合は稼働するという事にはならないと考えている」と回答しました。抗議終了後、廊下で待っていた人たちとの報告会を開き、抗議内容と回答を全体で共有しました。

■抗議集会（金曜行動）に130人！

原電のある県開発公社脇で6時から7時30分まで催された金曜行動では、130人が参加。抗議団に参加した人たちの報告会やトーク、またコールなどを元気に行いました。闘いはこれからだという事を痛切に考えました。



裁判から考える 東海第二原発の危険性と再稼働を止める方法 **無料**

講師 大石 光伸（みつのぶ）

（東海第二原発訴訟団共同代表）

間もなく40年を迎える東海第二原発。日本原電は地元や周辺住民の大きな反対にもかかわらず、11月24日、原子力規制委員会に20年稼働延長申請を行いました。

廃炉引当金を原発建設資金に流用したり、安全対策工事費1800億円の債務保証など、大きな問題を抱えながら、危険な東海第二原発の再稼働にひた走る日本原電は許せません。

東海第二原発の危険性をしっかりと学習し、再稼働を止める確実な力をつけましょう。

とき 2017年12月3日(日)10:00～

ところ 水戸市生涯学習センター 中研修室

水戸市三の丸1-5-38 旧県庁舎3階

電話 029-228-1313

「老朽原発の再稼働を許さない！

私たち県民の力で、原発を止めましょう」

主催 さよなら原発いばらきネットワーク

029-219-1031（茨城労連内）

16名の方が新たに合葬される 2017年11月5日

「第28回茨城県解放戦士合葬祭」

晴天の11月5日、笠間市太田町の千成での式典の後、北山霊園内の茨城県解放戦士の碑前にて碑前祭が行われました。（合葬者は541名となりました。）



新聞意見広告図案決定！ 「この笑顔 いつまでも～」

『日本国憲法9条改憲は許しません！』

12月8日（金）朝日茨城版に「全1ページ」掲載決定！

安倍政権は憲法九条に「自衛隊を明記する」と言っています。憲法に新たに書き込まれた項目は、それ以前にあった項目のすべてに優先するというのが、憲法のイロハです。新たに明記された「自衛隊」は、憲法に基づいた今までの「自衛のための最少の実力組織」でなくなります。それは、憲法に規制されない「戦力」として、アメリカ軍と共に世界のどこでも戦争のできる「軍隊」に生まれ変わります。

そんなことは許してはなりません。

平和委員会の意見広告を皆さんの力で実現させて下さい。



平和新聞

2017年12月5日（火）

2155号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版 No. 794

2017.12/5

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

戦争法廃止茨城県民共同アクションに220人!

アベ改憲ダメ! 9条 **いいいわ!** 平和が **いいいわ!**



■久しぶりのデモ! 「戦争法の廃止を求める茨城県民連絡会」に結集して!

11月23日(木)の労働感謝の日の午後、水戸駅南口のペディストリアンデッキで集会とリレートークを開催。その後、宮下銀座を出発して京成百貨店前までデモ。「戦争法廃止 茨城県民共同アクション」に取り組みました。

これは、毎月19日に戦争法の廃止を求めて取り組んでいる「戦争法の廃止を求める茨城県民連絡会」(事務局長に県平和委員会)が開催したもの。恒例の11月19日(日)は、「東海第二原発再稼働に反対する学習会」やその他の集会などと競合したため、協議の上、日程をずらして取り組んだものです。25000枚以上チラシをまいて準備した。当日は昼過ぎまで雨が降っていましたが、集会時には陽も射して絶好の日和となりました

■与党が憲法改正発議可能な3分の2議席であっても、決めるのは私たち!

各地の市民活動は、秘密法、戦争法、共謀罪を強行した安倍政権の暴走を止めるべく、野党共闘の実現を目指して選挙を闘いました。しかし選挙直前に民進党分裂などもあり、与党に憲法改正発議可能な3分の2議席を許しました。未だに憲法改正に反対する国民の方が多くは、この民意を形にしなければ私たちの平和憲法は変えられてしまいます。想いを行動にすることこそ、私達市民と立憲野党の力となります。遠くは鹿嶋市や北茨城市など、県内各地から「政治を変えよう」との思いで参加してくれました。

■各分野で、戦争できる国づくりに反対の運動をすすめている仲間が一堂に!

集会は、チャップリン映画「独裁者」の「演説部分」を入江さん(農民連)が「演説」して開始。主催者として田中代表、青年代表として高橋委員長(民主青年同盟)、金曜行動から中山事務局長(さよなら原発)、はばたき法律事務所から丸山弁護士、百里反対同盟から梅沢代表、市民連合から田村事務局長、日本共産党から江尻県議会議員など、運動の中核を担っている人たちからの多彩なトークとなりました。トークは各団体3~4分程度でした。

■若者を先頭に、年配の方々も一緒に! 「戦争はダメ」をコール!

集会終了後水戸駅北口の宮下銀座入り口に集合して出発。デモ指示や運営は金曜行動を担っているドラム隊の若者を先頭に、花山さん(Saud)、入江さん(農民連)が指示し、整理員に吉井さん(茨高教組)、宣伝カー運転は齊藤さん(茨高教組)、コール担当は宇野さん(はばたき)が担当しました。

入江さん(農民連)が作成したラップ調のコール、「平和がいいよね 戦争反対」「税金上げるな 軍事費増やすな」などと訴えました。沿道から手を振る人の姿もありました。最後に水戸京成デパート前で流れ解散としました。久々のデモとなりました。



「安倍9条改憲NO! 3000万署名茨城連絡会」(仮)

12月12日(火)キックオフ集会
多くの団体を結集して!

安倍首相は改憲右翼団体「日本会議」と、この日本会議と一体の「国会議員懇談会」の設立20周年記念大会が11月27日(月)開催され、安倍首相は「自由民主党は国民に責任を持つ政党として、憲法審査会における具体的な議論をリードし、その歴史的な使命を果たして参ります」と表明しました。

有権者1億500万人を対象とした「9条改憲NO! 3000万署名」であれば、茨城県では70万筆以上が目標となります。これまで以上に大同団結した取り組みが求められており、県平和委員会も出番でもあります。

集会名 「安倍9条改憲NO! 3000万署名茨城連絡会」キックオフ集会

略称 「3000万署名県連絡会」(仮)

第1部 講演「池田香代子氏」(ドイツ文学者)

「引き返す道は もうないのだから」

第2部 交流会:3000万署名に取り組む県内各地の報告と決意表明

とき 2017年12月12日(火) 13:30~16:00

ところ 水戸市国際交流センター

参加費: (水戸市備前町5-59 029-221-1800) 500円

沖縄の平和のたたかいに、おいしい茨城の米を!

高江に240kg 名護市市長選に270kg



昨年、一昨年に引き続いて、茨城県平和委員会を窓口にして、茨城のおいしい白米を、沖縄の仲間へ送ります。

高江には240kgをすでにお送りしました。お礼のカレンダーも届いています。今回は泊まり込みのない辺野古に変わり、2月4日(日)に市長選が予定さ

れている名護市に、270g送付する準備ができています。

茨城県農民連の会員の皆様のご協力を受け、平和委員会を窓口にして応援しています。今後さらに支援の量を増やす予定です。

安倍9条改憲NO! 全国市民アクション

11.3国会包囲大行動



「9条改憲ノー」の声を響く!4万人が国会を包囲!国民の意思を示す!

【日本ユーラシア協会茨城県支部・佐川博文さん写真提供】